

## 「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」の達成指標について

### 1 背景

平成23年10月に策定された「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」では、計画の達成状況を評価するため、24項目の達成指標を設定している。

しかし、これらの中には、現状値が調査中であった項目や、新たに調査を行って現状値を把握するとともに目標値を見直すこととなっていた項目が含まれている。

### 2 これまでの経緯

平成22年10月～11月	「県民健康・栄養調査」の実施
平成23年10月	「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」策定
平成24年 4月	「県民健康・栄養調査」の報告書を公表
平成24年10月～12月	「口腔保健調査」、「幼児に関する歯科保健行動調査」を実施
平成25年 5月～	上記調査の結果概要を公表

### 3 現状値の確定及び目標値の見直し方法

#### (1) 検討体制

平成25年度に「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画ワーキンググループ」を設置し、9月5日に会合を開催した。

#### 《ワーキンググループの構成員》

(五十音順・敬称略)

所属・職名	氏 名
東北大学大学院歯学研究科准教授	相 田 潤
東北大学大学院歯学研究科長	佐々木 啓 一
社団法人宮城県歯科医師会常務理事	山 形 光 孝
社団法人宮城県歯科医師会副会長	山 本 壽 一

#### (2) 検討方法

現状値の設定 → 「県民健康・栄養調査」、「口腔保健調査」、「幼児に関する歯科保健行動調査」によって把握された数値を現状とした

目標値見直し → 現在の目標値の達成状況、全国及び他都道府県の動向等を踏まえて、見直しの対象となっていた11項目のうち7項目について目標値の見直しを行った。

# 現計画

## 4 計画の達成指標一覧

この計画の達成状況を検証するため、以下のとおり達成指標を設定します。

達成指標のうち、一部項目については現況値が把握できていないため、県では、推進条例第11条においておおむね5年ごとに実施することとされている「歯と口腔の健康実態調査」を平成24年度に実施し、実態把握を行います。その上で、調査結果等をもとに、目標値について、平成25年度に必要な見直しを行います。

なお、2回目の実態調査は平成27年度に実施し、その結果をもとに、この計画による取組を評価します。

### 宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標項目

テーマ	達成指標	資料	目標値 (測定年度)		目標値設定の考え方
			現状	目標	
(出産前～概ね5歳) 妊産婦期・乳幼児期	3歳児の一人平均むし歯数	3歳児歯科健康診査結果(毎年)	1.36 (H21)	1本以下 (H28)	みやぎ21健康プランの目標値1本以下を踏まえ、1本以下とする。(目標未達成のため) 平成21年度全国値 0.87本:宮城県 39位
	3歳児におけるむし歯のない人の割合	3歳児歯科健康診査結果(毎年)	68.3% (H21)	80%以上 (H28)	「健康日本21」の目標値である80%以上を踏まえ、80%以上とする。 平成21年度全国値 77%
	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合	新規:幼児に関する歯科保健行動調査(H24・27)	—	50%以上 ※	「健康日本21」の目標値である50%以上を踏まえ、50%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 1-5歳:57.6%
	3歳児の間食として甜味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	新規:幼児に関する歯科保健行動調査(H24・27)	—	15%以下 ※	「健康日本21」の目標値である15%以下を踏まえ、15%以下とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 3-5歳:17.8%
(概ね6歳～18歳) 学童期・思春期	12歳児の一人平均むし歯数	学校保健統計調査(毎年)	1.76 (H21)	1本以下 (H28)	「健康日本21」の目標値である1本以下を踏まえ、1本以下とする。 平成21年度全国値 1.4本:宮城県 34位
	12歳児におけるむし歯のない人の割合	学校保健統計調査(毎年)	42.2% (H21)	全国平均を上回る値 (H28)	全国平均値を目標とするが、全国平均値が年々変化することから、全国平均値を上回る値とする。 平成21年度全国値 50.3%
	12歳児における歯肉に異常のある人の割合	学校保健統計調査(毎年)	7.0% (H21)	全国平均を下回る値 (H28)	全国平均値を目標とするが、全国平均値が年々変化することから、全国平均値を下回る値とする。 平成21年度全国値 4.39%:宮城県 45位
	過去1年間に歯磨きの個別指導を受けた人の割合	宮城県児童・生徒の健康実態調査(H24・27)	—	30%以上 ※	「健康日本21」の目標値である30%以上を踏まえ、30%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 6-11歳:57.4% 12-14歳:38.0%
	フッ化物配合歯磨剤の使用割合	宮城県児童・生徒の健康実態調査(H24・27)	—	90%以上 ※	「健康日本21」の目標値である90%以上を踏まえ、90%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 86.3%

テーマ	達成指標	資料	目標値 (測定年度)		目標値設定の考え方
			現状	目標	
(概ね19歳～39歳) 青年期	かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値70%以上を踏まえ、70%以上とする。
	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	30%以上※	「健康日本21」の目標値である30%以上を踏まえ、30%以上とする。
	歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	50%以上※	「健康日本21」の目標値である50%以上を踏まえ、50%以上とする。
	喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	100%	みやぎ21健康プランの目標値100%を踏まえ、100%とする。
(概ね40歳～64歳) 壮年期	かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値70%以上を踏まえ、70%以上とする。
	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	30%以上※	「健康日本21」の目標値である30%以上を踏まえ、30%以上とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 40歳代 37.2% 50歳代 42.8% 60歳代 45.8%
	歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	50%以上※	「健康日本21」の目標値である50%以上を踏まえ、50%以上とする。
	進行した歯周病の人(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	30%減少※	「健康日本21」の目標値である30%減少を踏まえ、現状値から30%減少とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 40歳代 22.8% 50歳代 32.6% 60歳代 36.8%
	60歳で25本以上歯を保持する割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	50%以上	「健康日本21」の目標値である50%以上を踏まえ、50%以上とする。
	喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	100%	みやぎ21健康プランの目標値100%を踏まえ、100%とする。
(概ね65歳～) 高齢期	80歳で20本以上歯を保持する割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	20%以上	みやぎ21健康プラン及び「健康日本21」の目標値20%以上を踏まえ、20%以上とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 26.8%
	かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値70%以上を踏まえ、70%以上とする。
	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	30%以上※	「健康日本21」の目標値である30%以上を踏まえ、30%以上とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 60歳代 45.8% 70歳代 32.8%
	進行した歯周病の人(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の割合	新規：宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	30%減少※	「健康日本21」の目標値である30%減少を踏まえ、現状値から30%減少とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 60歳代 36.8% 70歳代 25.7%
	喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	県民健康栄養調査(H22・27)	調査中	100%	みやぎ21健康プランの目標値100%を踏まえ、100%とする。

※ 目標値は平成24年度宮城県歯と口腔の健康実態調査結果等に基づき平成25年度に必要な見直しを行います

# 変更案

## 4 計画の達成指標一覧

この計画の達成状況を検証するため、以下のとおり達成指標を設定します。

達成指標のうち、一部項目については、計画策定時点で現況値が把握できていなかったため、県では、推進条例第11条においておおむね5年ごとに実施することとされている「歯と口腔の健康実態調査」を平成24年度に実施して実態把握を行い、平成25年度に目標値の見直しを行いました。

なお、2回目の実態調査は平成27年度に実施し、その結果をもとに、この計画による取組を評価します。

### 宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標項目

テーマ	達成指標	資料	目標値 (測定年度)			目標設定の考え方
			当初	現状	目標	
(出産前・概ね5歳) 妊産婦期・乳幼児期	3歳児の一人平均むし歯数	3歳児歯科健康診査結果(毎年)	1.36本(H21)	1.11本(H23)	1本以下	みやぎ21健康プランの目標値である1本以下を継承し、1本以下とする。 平成23年度全国値 0.74本：宮城県 38位
	3歳児におけるむし歯のない人の割合	3歳児歯科健康診査結果(毎年)	68.3%(H21)	72.6%(H23)	80%以上	「健康日本21」の目標値である80%以上を継承し、80%以上とする。 平成23年度全国値 79.6%
	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことがある人の割合	幼児に関する歯科保健行動調査(H24・H27)	—	72.5%(H24)	80%以上 50%以上	「健康日本21」の目標値である50%以上を達成したことから、現況値を踏まえ、80%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 1-5歳：57.6%
	3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	幼児に関する歯科保健行動調査(H24・H27)	—	31%(H24)	15%以下	「健康日本21」の目標値である15%以下を継承し、15%以下とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 3-5歳：17.8%
(概ね6歳～18歳) 学童期・思春期	12歳児の一人平均むし歯数	学校保健統計調査(毎年)	1.76本(H21)	1.5本(H24)	1本以下	「健康日本21」の目標値である1本以下を継承し、1本以下とする。 平成24年度全国値 1.1本：宮城県 34位
	12歳児におけるむし歯のない人の割合	学校保健統計調査(毎年)	42.2%(H21)	47.8%(H24)	全国平均を上回る値	全国平均値を目標とするが、全国平均値が年々変化することから、全国平均値を上回る値とする。 平成24年度全国値 57.2%
	12歳児における歯肉に異常のある人の割合	学校保健統計調査(毎年)	7.0%(H21)	6.1%(H24)	全国平均を下回る値	全国平均値を目標とするが、全国平均値が年々変化することから、全国平均値を上回る値とする。 平成24年度全国値 3.6%：宮城県 43位
	過去1年間に歯磨きの個別指導を受けた人の割合	宮城県児童・生徒の健康実態調査(H24・H27)	—	24.8%(H24)	30%以上	「健康日本21」の目標値である30%以上を継承し、30%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 6-11歳：57.4% 12-14歳：38.9%
	フッ化物配合歯磨剤の使用割合	宮城県児童・生徒の健康実態調査(H24・H27)	—	53.1%(H24)	90%以上	「健康日本21」の目標値である90%以上を継承し、90%以上とする。 平成21年国民健康・栄養調査結果 86.3%

テーマ	達成指標	資料	目標値 (測定年度)			目標設定の考え方	
			当初	現状	目標		
(概ね19歳～39歳) 青年期	歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底	かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	46.8% (H22)	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値である70%以上を継承し、70%以上とする。
		定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	23.3% (H24)	30%以上	「健康日本21」の目標値である30%以上を継承し、30%以上とする。
		歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	45.5% (H24)	60%以上 50%以上	「健康日本21」の目標値である50%以上を達成しつつあることから、現況値を踏まえ、60%以上とする。
		喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	58.7% (H22)	100%	みやぎ21健康プランの目標値である100%を継承し、100%とする。
(概ね40歳～64歳) 壮年期	歯周疾患対策と喪失予防の推進	かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	55.9% (H22)	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値である70%以上を継承し、70%以上とする。
		定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	31.1% (H24)	45%以上 30%以上	「健康日本21」の目標値である30%以下を達成したことから、現況値を踏まえ、45%以上とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 40歳代37.2% 50歳代42.8% 60歳代45.8%
		歯間清掃用器具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用する人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	57.7% (H24)	70%以上 50%以上	「健康日本21」の目標値である50%以上を達成したことから、現況値を踏まえ、70%以上とする。
		進行した歯周病の人(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	45.0% (H24)	40%以下 30%減少	現況値を踏まえ、40%以下とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 40歳代22.8% 50歳代32.6% 60歳代36.8%
		60歳で24本以上歯を保持する割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	38.6% <sup>※1</sup> (H22)	50%以上	現況値及び「健康日本21(第2次)」の目標値(H34)である70%以上を踏まえ、50%以上とする。
		喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	42.9% (H22)	100%	みやぎ21健康プランの目標値である100%を継承し、100%とする。
(概ね65歳～) 高齢期	口腔機能の維持・回復、口腔衛生の維持	80歳で20本以上歯を保持する割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	31.8% (H22)	42%以上 20%以上	現況値及び「健康日本21(第2次)」の目標値(H34)である50%以上を踏まえ、42%以上とする。
		かかりつけ歯科医を持つ割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	調査中	66.1% (H22)	70%以上	みやぎ21健康プランの目標値である70%以上を継承し、70%以上とする。
		定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	—	56.8% (H24)	60%以上 30%以上	「健康日本21」の目標値である30%以上を達成したことから、現況値を踏まえ、60%以上とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 60歳代 45.8% 70歳代 32.8%
		進行した歯周病の人(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の割合	県民健康栄養調査(H22・H28)	—	63.5% (H24)	55%以下 30%減少	現況値を踏まえ55%以下とする。 平成21年度国民健康・栄養調査結果 60歳代 36.8% 70歳代 25.7%
		喫煙によって歯周病にかかりやすくなることを知っている人の割合	宮城県歯と口腔の健康実態調査(H24・27)	調査中	34.7% (H22)	100%	みやぎ21健康プランの目標値である100%を継承し、100%とする。

※1 現状の値は「60歳で25本以上歯を保持する割合」である。

---

---

宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画ワーキンググループ（平成 25 年 9 月 5 日）  
における意見

---

---

- 1 学童期・思春期の指標である「過去 1 年間に歯磨きの個別指導を受けた人の割合」に関して、「個別指導」の定義があいまいなので、次回調査では調査票に定義を注記すること。
- 2 学童期・思春期の指標である「フッ化物配合は歯磨剤の使用割合」の現況値が調査の結果 53.1%であったが、ほとんどの歯磨剤にフッ化物が入っている現状から考えると低すぎることから、フッ化物に関する普及・啓発をさらに進めていくこと。
- 3 青年期、壮年期及び高齢期の指標である「定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合」に関して、「定期的」の定義があいまいなので、次回調査では「過去 1 年間」に修正し、達成指標も変更すること。
- 4 壮年期の指標である「60 歳で 25 本以上歯を保持する割合」に関して、『健康日本 21（第 2 次）』では「60 歳で 24 本以上」となっていることから、異なっている理由を調べること。  
→ 調べたところ、本県の県民健康・栄養調査では、歯の保有数に関する設問の選択肢が従来から「28 本」、「25～27 本」、「20～24 本」、「10～19 本」、「1～9 本」、「0 本」という区分となっていたことから、「25 本以上」という指標としたものである。  
次回調査からは、「24 本以上」の区分で集計できるように設問を修正するとともに、指標を変更する。
- 5 壮年期の指標である「進行した歯周病の人（4mm以上の歯周ポケットを有する人）の割合」に関して、『健康日本 21（第 2 次）』では「40 歳代」及び「60 歳代」という区分でそれぞれ目標値を設定していることから、次回からはこの区分で現状値を出すとともに、次期計画において達成指標を変更すること。
- 6 「健康日本 21（第 2 次）」において新たに目標値に加わった下記の項目については、平成 27 年度の調査で現状を把握し、次期計画において達成指標に加える方向で検討すること。
  - 20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合
  - 過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合（20 歳以上）
  - 40 歳で喪失歯のない者の割合
  - 60 歳代における咀嚼良好者の割合